



Sustainable Tourism

サステイナブル(持続可能)な未来を目指して —
世界各地のユースホステルで取り組みを始めています。

「恵まれた人だけが世界を旅するのではなく、世界中の青少年みんなが世界を旅して、出会いや別れ、自然や文化との触れ合いを経験して学びあう機会を作りたい」
そんな願いを持った一人のドイツ人教師によって“ユースホステル”は始まりました。
100年以上の月日を経て世界中に広がったユースホステルは、その願いを体現する場所。
快適な施設の運営を目指すのと同じように、地域の自然環境や文化を保護し、
「世界の抱える問題に対して私たちユースホステルができることは何か」を考えた活動を実践しています。

ユースホステルを通じた Sustainable Tourism



「誰一人取り残さない」—そんな世界の実現のために国連で採択された、持続可能な開発目標 (SDGs)。

Hostelling Internationalは、国連世界観光機関のアフィリエイトメンバーとしてSDGsの達成に向け、Sustainable Tourismを10のテーマに分けてサステイナブルな運営を実現しています。Hostelling Magazineでは毎号一つのテーマに焦点をあてて紹介していきます。

05


Our Hostels

—私たちのユースホステル—

最近耳にすることも増えてきた「カーボンニュートラル」という言葉。それは、二酸化炭素の排出量と吸収量がプラスマイナスゼロになるということ。Hostelling Internationalでは、電気や水の使い方を定期的に見直し、ローカルな食材を選ぶなど、「カーボンニュートラル」なユースホステルを目指し、環境に優しい取り組みを始めています。



絶景を望むエコな ユースホステルはいかが？

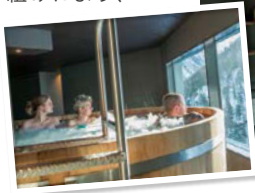
 Swiss Youth Hostels
(スイス)

SDGsへの貢献



ス イスのユースホステルでは、エコフレンドリーな建物向けの**認証ラベル「Minergie」**を取得する活動を2004年から始めています。まずは、マッターホルン山麓の町ツェルマットにあるユースホステルから始まり、標高4000mの美しい山々に囲まれ、その贅沢なスパで有名なユースホステルSaas-Fee

Wellness Hostel 4000など、合計6か所のスイスのユースホステルが「Minergie」ラベルを取得しています。この取り組みにより、合計で**エネルギー消費量を20%削減し、化石燃料の使用量を半減**させることに成功しました。



ペットボトルを減らし、 次世代にも豊かな自然を！

  YHA England & Wales
(イングランド&ウェールズ)

SDGsへの貢献



英 国のイングランドとウェールズ地方のユースホステルでは、ペットボトルを減らす取り組みを始めています。4か所のユースホステルに**ウォーターサーバー**を設置し、ゲストが各自のマイボトルを使うことで、これまでに年間**10万本のペットボトルの削減**に成功しました。今後はウォーターサーバーを13か所のユースホステルに拡大し、**年間50万本の**

ペットボトルの廃棄削減を目指しています。特に、イングランドとウェールズ地方のユースホステルは学校団体による宿泊も多いため、この取り組みを通じて、多くの子どもたちに環境問題について興味を持ってもらい、イングランドとウェールズ地方に点在する**美しい自然や国立公園の保護**にも貢献していきたいと考えています。

原産地はユースホステル！ 究極の地産地消を目指して

 FUAJ
(フランス)

SDGsへの貢献



フ ランスのLa Clusaz ユースホステルでは、**究極の地産地消**を実現するため、ユースホステルの横に**ベジタブルガーデン**を造りました！これにより、安心安全のオーガニック食品の提供だけでなく、現地の気候や風土に合った野菜を栽培し、持続可能な農業をもとに文化、人、自然が共に豊かなような関係を築く「**パーマカルチャー**」(永続性(パーマナント)、農業(アグリカルチャー)、

文化(カルチャー)を組み合わせた言葉)の実現を目指しています。このベジタブルガーデンで栽培された新鮮でおいしい野菜をメニューに取り入れることで、加工の過程で**二酸化炭素を多く排出する肉を使ったメニューを減らし**、La Clusaz ユースホステル単体で計**20トン以上**の二酸化炭素の排出を削減することが可能になります。



Take Action!



Hostelling Internationalでは、世界持続可能観光協議会に認められた品質管理システム「HI-Q&S」を採用しています。「HI-Q&S」マークを取得したユースホステルはその品質、そして社会や環境への配慮が特に優れています。是非一度、「HI-Q&S」マークの付いたユースホステルに宿泊してみよう！



CHECK

“Our Hostels”に関する
Hostelling Internationalの
取り組みはこちらでも紹介しています(英語)。

● スイス

<http://blog.hihostels.com/2017/04/moving-to-our-hostels-how-travelers-and-hostels-can-reduce-co2-emissions/>



● イングランド&ウェールズ

<http://blog.hihostels.com/2019/02/vote-for-your-favourite-project-now-hisf-2019/>



● フランス

<http://blog.hihostels.com/2018/01/meet-the-2017-hisf-competition-winners/>







つづきをダウンロード(無料)




Hostelling Magazine vol.22
まとめてダウンロード




Sustainable Tourism P18



インタビュー P02
武井 壮
「行って見るだけ」はしたくない。
どこに行っても自分の価値を発揮できる
自分でありたい。




ユースホステルはじめの一步 P20



Youth Hostel Pick up P08
「馬のまち」として歴史を紡ぐ小淵沢で、
豊かな自然を間近につろぎの時間を-。
八ヶ岳ポニーユースホステル




教えて! 旅GIRL P21



Hostelling Magazine X 地球の歩き方... P12
最も美しいのはココ!世界こんなところにこんな町!?

- 絶壁に囲まれた「陸の孤島」
- 外洋から100km!えぐれたフィヨルド沿いの町
- 紺碧のアドリア海に囲まれた城壁とオレンジの旧市街
- 険しい岩窟の周りに土の家々が並ぶ
- アンデスの山々に囲まれた標高3500mオーバーの盆地
- 三日月のオアシスに寄り添う仙人の不思議な住居
- ユングフラウ3山を見上げる山間の小さな村



松島むうの晴れときどき旅びより..... P22

Hostelling Magazine読者の皆様 発行日程変更のお詫び

平素よりHostelling Magazineをご愛読いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、本誌Hostelling Magazine vol.22の発行日を変更して発行いたしました。楽しみにお待ちいただいていた皆様におかれましては大変申し訳ございませんが、なにとぞ事情をお汲み取りいただき、ご了承いただけますようお願い申し上げます。また、本年度発行の次号以降の発行日程につきまして、右記の通り予定しています。

2020年度季刊誌「Hostelling Magazine」発行スケジュール	
変更前	変更後
秋号 9月下旬	▶ 10月下旬(予定)
冬号 12月下旬	▶ 変更なし(予定)
春号 2月下旬	▶ 変更なし(予定)